

「つくたく」体験記

木嶋 保子

今年度から「つくバス」の時刻表とコースが大幅に変わった。便を増設し、大きい滞留所から大きな拠点(施設)までを走るようになった。しかし最寄の滞留所が遠くなり、その分そこまでの移動が大変になった。

一番の問題は、自分たちがよく利用する福祉センターやふれあいプラザがバスのコースから除外された事。

ところが今年度から新しく「つくたく」というシステムが稼働し、最寄りの旧つくバスの停留所から、区域内であれば格安で利用できる事になった。登録料金1000円で自宅までの送迎も可能である。私たちは双方の利便性を上手に使い分け、活用していく必要がある。



福祉センターから自宅まで



つくたくでパソコン勉強会参加

えたいが、個人的には、目的に よって 使い分 けて生 活の利 便性を 高めて 行きたいと思っ ている。私は両 方とも既に数回 利用している。 当会の行事でも つとも問題な のは、やはり足 の問題。

会員による車の送迎も高齢化に 伴い、難しくな っている。そこ で、出来るだけ 「つくたく」を 活用していただ きたい。

料金は茎崎地区内であれば一 律300円。身体障害者手帳ま たは65歳以上であれば半額であ る。地域をまたがり、例えば市 の中央に出かける場合は料金が 加算される。詳しいことは「つ くば市バスマップ」を参照して いただきたい。ちなみに当地区 では、次の2コースがある。

- ・自由ヶ丘シャトル
  - ・南部シャトル
- つくば市役所や、つくばTXへの乗り入れも可能になった。両コースとも茎崎窓口センターが始発である。

被災地支援活動

竹原 良子

3月11日以来、何か自分に出 来ることはないかと考えていた ところ、友人から声をかけられ たのが、支援物資を集めて自分 たちで被災地に持って行くこと ことでした。宮城県仙台方面と 聞き私も少しでも役に立ちたい と思い支援物資集めをしました。

最初はバスで仮設住宅を廻り ましたが、どう言葉をかけて良 いのかわからず気持ちが固まり、 責任者の方に代表して話を聞い てもらい、私達はバスから降り ることが出来ませんでした。 支援物資搬送は受け入れ先が 決まっているところにもっていき ます。やはり一人の力では何 も出来ません、これからも長く 続けてほしいし、私も協力して 行きたいと思えます。

初めて被災地に行き自分の目 で確かめることが出来とても良 かったと思えます。3月11日以 来4ヶ月もたつていますがまだ 未だです。宮城県亘理郡山元町 のお寺を3ヶ所廻つてきました。 最初に行ったお寺には、津波で 家も流され、お墓も流され、家 族は避難所に暮らす方々が、亡 くなった方のお骨を預けており、 又身元がわからないお骨も沢山 ありました。何とも切なくなり ました。もう一つのお寺さんは、 立ち入り禁止なので住職さんが 一人で奮闘する姿を見て涙が出 そうです。津波で砂をかぶつ たお墓を一つ一つ砂を取り除き 高く積まれた砂山を作ったそう

編集後記:東日本大震災からはや4ヶ月が過ぎました。被災者は家も土地も仕事もうばわれ、過酷な状態の中、不便な生活を余儀なくされています。 障害をお持ちの方々はより一層のご不便を感じておられるのではないのでしょうか。 あわせて原発事故による放射能の問題も見逃せ ません。いまや日本中が大変な試練に立っております。 そのようななか、女子サッカーなどでJAPAN によるワールドカップ優勝の快挙は、我々に喜びと 勇気と元気をもたらしてくれました。 「ガンバレ! ニッポン」 木嶋

**ホテル レイクサイドつくば**  
〒300-1273 茨城県つくば市下岩崎708番の1  
☎029・876・5050

**岡野製茶**  
〒300-1262  
茨城県つくば市九万坪52-13  
TEL029-876-0345 FAX029-876-0346